

編集後記

新しい年代のスタートとともに時代の節目を痛感いたします。

編集委員を務めまして二年目。女性学インスティテュートへの理解を深めることができたかと思えます。女性の声が出せる場をつくることによって、女性が力を得る上で役立つようにと願いをこめて出発、今後とも広範囲の投稿論文を期待しております。(M. N.)

今年度も先生方よりたくさんのご投稿をいただき、『女性学評論』の編集委員としては順調な年であったと思えます。

今、注目の湾岸戦争で兵士の中にお母さん兵士や女性兵士がいるのを知り、最近は女性の男性社会への進出はめざましいとは思っていたが、このようなところまで…と驚くばかりです。

早く平和がもどるよう祈るこの頃です。(N. T.)

投稿原稿数が増えています。議論の場としての『評論』の柔軟な枠組が、こうして支持されつつ堅固になっていくのでしょうか。皆で作りにあげていくというのは、こういうことなのだと思います。御協力下さった皆様、ありがとうございました。(T. U.)

「女の時代」と言われて久しいが、なる程女子学生達の元気のよさには感心する。今のところその元気は、もっぱら、(男子学生主導の)表層的な遊びに費されているようだが、その中で出口を見い出せず鬱屈しているエネルギーも膨大だろう。本誌がささやかながらも、彼女達に知的なドライブを与えることができればと思う。(M. W.)

神戸女学院大学 女性学評論 第5号

印刷 1991年3月30日
発行 1991年3月31日
発行人 別府恵子
編集委員 別府恵子、中原満子、谷 祝子
上西妙子、渡部 充 (アルファベット順)
題 字 溝口芳子
印刷所 尼崎印刷株式会社
〒660 尼崎市北大物町16番55号
TEL 06-481-0707
発行所 神戸女学院大学女性学インスティテュート
〒662 西宮市岡田山4-1
TEL 0798-52-0955